

最優秀賞 「おばあちゃんのご飯」

御杖村立御杖小学校 5年 井嶋 光里

「いただきます。」

おばあちゃんの家では、おじいちゃんも、私の家族も、そして私も、うれしそうに手をあわせます。私は、おばあちゃんのご飯が大好きです。おみそしるも、ポテトサラダも、チャーハンも。私は、にものがきらいでしたが、おばあちゃんのにものを食べると、大好きになりました。

おばあちゃんは、「いっぱい食べて、大きくなりや。」と言ってくれます。

私の体は、おばあちゃんが作ってくれたご飯で、元気に動いているのだと思います。おばあちゃんが、おいしくて、栄養たっぷりのご飯を作ってくれるから、みんなが元気にくらしていけるのです。

おばあちゃんはよく、「こしがいたい。足がいたい。」などといいます。しかし、それでもみんなのご飯を作ってくれます。おばあちゃんは、「みんなが健康で楽しくらせるために作っている」といいます。自分のことより人のことを思って料理をすることができるのは、とてもすばらしいことだと思います。

料理をするのは、おばあちゃんだけではありません。私の母も料理をします。母のご飯は、何となく、おばあちゃんの味がします。母は、「おばあちゃんに教えてもらったからな。」といえます。もしかしたら、私の作るご飯も、おばあちゃんの味、母の味がするのかもしれませんが、私がつまみつまみ大きくなって、母になり、おばあちゃんになったとき、みんなに、「いっぱい食べて大きくなりや。」と言いたいです。少し、母の味、おばあちゃんの味がするご飯をだしたいです。そしてまた、みんなに料理を教えて、つなげていきたいです。

生きるためには、食べる必要があります。

今、私達が、健康で、楽しく、幸せに生きているのは、「食」があるからです。しかし、お金がなくて、ご飯を食べられない人は、世界中にたくさんいます。

そんな人達を救えるのは、私達です。

私は、おばあちゃんのように、「自分のことより人のことを思う」をみんなができれば良いと思います。

おばあちゃんは、「みんながおいしいと言うのでうれしい。」といえます。

このように、人のことを思って行動すると、何か良いことが待っていると思います。

私は毎日、「食べる喜び」を感じています。

毎日毎日、おいしいものをお腹いっぱい食べられる。それはとても幸せなことだと思います。毎日のご飯に感しゃの気持ちと幸せの気持ちを持ちつづけていきたいです。